

水田農業確立対策における米麦の生産安定

山川 恵久
(鹿児島県専門技術員)

はじめに

昭和62年度より始まった、本県の水田農業確立対策では、16,160haの水田転作となり、水田利用再編対策の第3期対策の13,060haに比較すると3,100haの転作増加となった。

このような情勢の中で、県内各地域の普及現場では、水田地域農業体系化確立事業（水田農業確立対策普及特別事業）として、各普及所ごとに対象地域を決めて、稲および転換作物のモデル実証圃を設けながら、将来の水田農業確立に向けた普及活動を展開中である。

ここでは、過去7年間に渡って実施して来た、土地基盤整備地域での水田農業確立対策として、指宿農業改良普及所で取組んだ事例を紹介する。

1. 地域の概況と米麦作生産グループの活動

指宿市池田干寄地区は、指宿から西北へ車で30分ほどの位置にあり、九州一大きい池田湖の近くに面している地区で、昭和56年～62年にかけて44.5haの基盤整備を実施して来た地域である。

これら基盤整備地区での未配分水田を、干寄米麦作生産グループ（6人）が土地改良区より借地として借り受けて、早期水稻と大麦の生産を高めながら、水田農業確立に取組んでいる。

基盤整備後の水田は地力ムラや、一部排水不良または耕土が深く作業困難な場所があることと、小作料が高い等の問題が起きている。

一方、水田が完全に地権者へ配分されること、兼業農家や高齢婦女子化した農家が多く、米麦作生産グループへの水田委託や農作業委託が多くなることも今後予想されて来る。干寄米麦作生産グループは、地域担い手農家の4HクラブのOBで、個人または共同による大型農業機械の利用体系による、米麦の共同生産がなされている。

2. 米麦作の単収向上と低コスト生産の目標

- 1) 稲作付面積5ha、麦作は10ha以上の規模で各1～2団地に集団化する。
- 2) 土地は、稲麦作ともに土地改良区から全面借り受ける。

3) 目標収量は、早期水稻で400kg、大麦300kgとする。

4) 生産コストの目標は、早期170千円（二次生産費）、大麦25千円とする。

等の項目を目標とした。

3. 水田農業確立対策におけるモデル実証圃について

干寄地域での水田農業確立を進めるに当たっては、米麦作生産グループによる、早期水稻栽培を中心としたブロックローテーション方式で転作物の団地化が図られている。実証圃の課題として、早期水稻の生産安定を図るため、側条施肥栽培を導入するとともに中間追肥による目標収量の確保を取上げている。

大麦については、基盤整備後の排水不良を改善するため、弾丸暗きよの実施と表面排水による目標収量の確保、さらに堆厩肥（4トン）の施用による土づくりを取上げており、米麦作生産グループとともに、水田農業確立対策の普及活動を展開している。

1) 実証モデル圃の成績

ア) 早期水稻では、施肥効果を高める意味で側条施肥田植（ペースト）が実施されたが、目標収量400kgには、追肥10kgで94%、15kgで98%と共に及ばなかった。これは土壌が砂質で肥料切れし易く、十分な穂数確保が出来なかったこと、また、登熟後期の長雨による天候不良で、千粒重が18gと非常に小さく、登熟も悪かったことによるものと推察される。

イ) 転作大麦 堆肥実証圃では、堆肥施用でもBB肥料を減肥した場合は対照区より劣った。排水対策区は、弾丸暗きよと中央排水溝3本を設けた区が穂は数多く、湿害はなく収量、品質ともに良く目標を上廻った。

干寄地区の水田農業確立は、地域全体のこれからのあるべき水田農業の姿として、米麦作生産グループを中心に、早期水稻と大麦生産を柱として取組んで行くと思われるが、栽培技術の向上等残された問題の解決が望まれる。

実証モデル圃場での成績

早期水稲

項目 区名	生育調査		出穂期 月 日	成熟期			成熟期 月 日	玄米重 g	目標収量 比
	草 丈	茎 数		稈 長	穂 長	穂 数			
	cm	本							
10kg施用区	66	22.5	7. 1	73	17.7	17.1	8. 1	376	94
15kg施用区	68	24.2	7. 1	72	17.0	20.7	8. 1	392	98

注) 生育調査は、6月13日

大 麦

項目 区名		株 立 本数m ²	出穂期 月 日	成熟期 月 日	稈 長 cm	穂 長 cm	穂 数 本/m ²	収 量 kg/10 a	左 同 比 率
堆 厩 肥	4 t + ようりん B B 200号(40kg) 苦土石灰	240	3. 30	5. 12	84	6.3	350	304	97
	無堆肥 苦土石灰(100kg) N K 2号(10kg)	210	3. 30	5. 11	83	6.4	320	312	100

項目 区名		株 立 本数m ²	出穂期 月 日	成熟期 月 日	稈 長 cm	穂 長 cm	穂 数 本/m ²	湿 害 程 度	収 量 kg/10 a	左 対 比 率
排 水 対 策	対 照 区 (排水良)	228	3. 21	5. 4	92	5.8	383	無	417	100
	弾丸 + 中央 排水溝 1本	221	3. 23	5. 5	94	5.7	380	微	417	100
	〃 + 〃 3本	228	3. 25	5. 9	97	6.4	423	無	437	105